

令和4年度成果報告 建設環境課総括

1. 建設関係

道路関係として、国道19号は、令和4年4月26日、5月13日の豪雨予想、9月の台風14号・15号の影響により雨量規制区間での通行止めが予想されたが、規制雨量150mmに達しなかったため通行止めは行われなかった。国道256号は9月9日の局地的豪雨により、上在郷地区、牧原沢の土砂流出による一時車両通行止めとなり、蘭広瀬地区住民の移動に大きな支障が出た。中津川南木曾線も馬籠峠先において雨量規制による全面通行止めが数回実施されたが、一時的なものであったため交通には大きな支障は出なかった。

さらに、大雪の影響により令和5年1月24日・25日と2月10日には、中津川市から塩尻市の間において全面通行止めによる除雪作業が行われたが、町内での普通車の移動には支障が出なかった。町道においても、12月、1月の大雪による融雪剤の散布、業者対応による除雪作業と多大な労力と費用を費やした。重機、オペレーターの確保が過疎化、人口減少により急務となっている。町内除雪作業について今年度より見直しを行い、従来の区長判断から除雪業者判断による出動へ大幅な見直しを行った。連絡体制及び除雪作業が円滑に進み、区長及び住民の皆さんからも大きな混乱がなくより迅速な除雪対応を行うことができた。さらに、木曾川右岸道路川向工区がバス路線となったことから、融雪剤散布車による早朝予防対策、さらにグレーダー3.1m級の除雪機械を借り上げし除雪を行い、安心安全なスクールバスの通行確保を行った。

今年度も自然災害に対する対応に追われた1年となり、特に9月9日の豪雨災害では町内10か所で被災があった。富貴畑線、中山道(下り谷)2本の災害復旧事業も繰越事業により実施し、道路・河川等の整備がさらに必要であると痛感した。

道路改良・河川整備事業については、今年度事業及び令和3年度繰越し事業も含めた町事業の推進、国・県関連事業の推進についても引き続き要望を行う。

また、リニア中央新幹線計画に伴う関連工事として、令和4年2月から用地買収交渉を開始した町道十二兼線改良工事が令和4年11月30日に完成した。今後は木曾川右岸道路との連携による発生土運搬が計画され、現在架橋工事中の仮橋が右岸道路の工事用道路として利用される予定となっている。

2. 住宅関係

町内では公営住宅67戸、特定公共賃貸住宅16戸、地域優良賃貸住宅6戸、町営単独住宅21戸、ユーアイ住宅46戸、また教員住宅30戸を管理している。昭和40年代の建築物もあり、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっており改修を行っている。また、老朽化し空き家となっている住宅もあ

り除却について計画的に進めている。

木造住宅等については、ここ数年除却に伴う届出が増えている状況でもあり、耐震改修に係る診断も毎年1件程度実施されている。

また、住宅リフォーム補助については上乗せ分3件も含め計8件の実績となった。

3. 宅造関係

平成29年度造成し平成30年度より分譲を開始した天白住宅団地3区画について1区画を分譲募集している。

町への定住を促進するための宅地造成事業に係るアンケートの結果より、購入希望者への追加調査を実施した。

4. 環境衛生関係

ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より0.1tの減少、生ごみが前年度より1.9tの増加、不燃ごみが2.2tの減少となった。また、資源ごみの回収は3.8tの増加となった。

環境美化活動では、衛生自治会と連携し町内一斉清掃を2回実施した。またポイ捨て防止監視4名により週5日間のパトロールを実施した。

レジ袋削減及び、コロナ禍による観光への影響対策から、オリジナルデザイン付きエコバック2種類を作成し配布した。

簡易給水施設改修補助として、地区水道5組合へ補助金（事業費の90%）の交付を行った。

与川地区柿平・向田水道組合からの要望による統合工事を実施（令和5年度繰越し）した。

5. 公営企業会計

地方公営企業法の適用により公営会計に移行し、複式簿記により会計処理を行った。

○南木曾町簡易水道事業会計

- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策として予備的措置についてJRとの協議により、措置に係る設計業務委託（3年度発注、4年度完了）と、第1工区から第8工区の工事の発注を行った。
- ・施設維持管理工事として原水施設5機器、浄水施設3機器、配水施設5機器の修繕工事等を実施した。
- ・毎月の定期項目検査、年1回の全項目・原水全項目検査、クリプト検査などを行い、適正な水質管理に努めた。
- ・浄水場・配水池における建設改良工事等を行った。

○南木曾町特定環境保全公共下水道事業会計

- ・新規公共マスの設置はなかった。
- ・民間業者等への委託により、施設管理・水質管理など、適正な管理に努めた。
- ・妻籠クリーンセンター調整槽・逆洗排水槽清掃を実施した。
- ・マンホールポンプ場ポンプ交換工事を実施した。
- ・マンホールカード発行への参画により 1,776 枚の配布を行った。

○南木曾町農業集落排水事業会計

- ・新規接続 1 戸（個人）、廃止 1 戸（個人）があった。
- ・民間業者等への委託により、適正な施設管理に努めた。
- ・蘭浄化センター非常用ポンプ交換、破砕機オーバーホール、No.2 ばっ気攪拌機用電動弁交換工事を実施した。
- ・改修工事は実施しなかった。

○南木曾町浄化槽市町村整備推進事業会計

- ・浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽 10 基を整備した。（町整備分 557 基）
- ・今年度、寄付による町管理型への移管は 5 基。（町への移管分 276 基）
- ・民間業者への委託により保守点検を 3 ヶ月に 1 回実施し、浄化槽の状況により汲み取り・清掃を行い適正な管理に努めた。

【評価】

- ・木曾川右岸道路事業として、県代行による新高瀬橋の架設、川向地区から田立地区県境部のルート確定に向けて右岸道路づくり委員会による意見交換会を数回開催し、今後の進め方について検討することができた。今後は、住民からの意見集約を行いながら、関係機関への要望を引き続き行い早期完成への働きかけが重要である。
- ・国道 19 号の雨量規制区間（吾妻橋から岐阜県坂下までの 6.5 km）の緩和及び、解消に向けた道路改良調査など、関係機関への要望の継続が必要である。
- ・国土強靱化事業は 5 箇年（令和 3 年度～令和 7 年度）緊急対策として、町道長者畑線防災工事について令和 3 年度繰越事業とし実施し、地域からの要望への解消が図られた。
- ・リニア中央新幹線事業に伴い JR 東海により町道十二兼線道路拡幅工事が行われ、リニア工事に係る地域住民要望に対する交通への支障の解消が行われたが、今後、本格的なトンネル掘削工事の開始に向け、引き続き地域と連携し住民生活への支

障が出ないように要望を行っていく。水道水源の予備的措置について関係課とともに JR と協議を進め、影響が懸念される簡易水道の 3 水源の水量確保などの予備的措置工事が一部実施できたが、引き続き水枯れ等による住民への影響を解消する必要があるため JR との協議を進めていく。

- ・新規住宅の建設は行えなかったが、単身向け住宅を中心としたユアアイ住宅建設の検討も含め、既存住宅を活用し、町外からの町内就業者への対応を引き続き行う。
- ・宅地造成事業は、天白住宅団地 1 区画の募集を引き続き行うとともに、アンケート結果による購入希望者のニーズに合った小規模宅地造成事業の計画を令和 5 年度において実施する。
- ・長野県による 2050 ゼロカーボンへの決意に賛同しているが、意欲的な目標を掲げ、具体的な地球温暖化対策について進めていく必要がある。
- ・小規模水道について一部施設統合が実施できたが、今後も各水道組合の現状をよく把握しながら将来の施設維持管理の在り方について協議・検討する必要がある。
- ・公営企業会計 4 会計（簡易水道・特環下水道・農業集落排水事業・浄化槽市町村整備事業）について、適正な会計管理に努めながら財務・事業内容の健全化を常に意識した事業運営、また料金改定の検討も行う必要がある。

8 建設環境課所管

1. 建設関係

(1) 道路関係

①町道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、道路メンテナンス事業補助を活用し橋梁点検・補修を実施した。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

令和3～7年度の5か年間の地域再生計画「歴史とひのきの薫る里づくり計画」(道整備交付金)に基づき、町道川向椰野線：高瀬橋架替(県代行事業)を中心とした事業を推進した。

道路維持補修事業	25,720千円	(台帳整備含む)
道路舗装事業	16,052千円	
道路改良事業	45,987千円	
除雪対策事業	30,453千円	
県営工事付帯事業	1,825千円	
橋梁維持補修事業	17,652千円	
河川整備事業	3,109千円	
4年度事業費計	140,798千円	(明細別紙参照)
4年災害復旧費	2,963千円	(明細別紙参照)
3年度繰越事業	178,908千円	(明細別紙参照)

現年度事業

- ・道路維持補修工事 57 箇所を行った。
- ・道路新設改良工事では、神戸団地下線防草シート設置工事 A=220 m²、与川線改良事業地質調査、大原線改良工事 L=94m(三留野浄水場付近)、坂の下線改良事業 L=52m(国道 19 号交差点から JR ガード下)を実施した。
- ・舗装工事では、富貴畑線 L=389m(志水木材産業付近)の舗装補修工事を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、田立駅跨線橋の耐震診断補修設計(R5 債務負担)、井戸沢橋(大妻籠)補修設計、宮の沢橋(塚野)補修工事を実施した。
- ・橋梁点検 5 橋を実施した。
- ・除雪対策事業は、昨年度の豪雪により従来の区長判断から除雪業者判断による出勤へ大幅な見直しを行った。除雪費用は昨年比 62%と減額となった。融雪剤購入も 1,200 袋から 680 袋となり、円滑に住民対応ができた。
- ・9月9日豪雨では10箇所の被災を受けた。これにより、国道256号が上在郷地区での土砂流出で一晩全面通行止めとなったため、生活に多くの支障が生じた。

繰越事業

- ・妻籠町中線美装化工事の測量設計及び舗装材の試験施工を実施した。
- ・長者畑線の防災工事を実施した。
- ・交通安全事業(グリーンベルト舗装)を4箇所実施した。
- ・額付環状線、川向下線の
- ・富貴畑線、中山道(下り谷)2本の災害復旧事業を実施した。

②国 道

【一般国道 19 号】

神戸視距改良工事が実施された。

【一般国道 256 号】

道路改良（漆畑拡幅）等が実施された。

③県 道

【主要地方道 中津川南木曾線（馬籠峠～下り谷拡幅）】

道路築造工が実施された。

【主要地方道 中津川田立線】

道路築造工、大滝川橋梁（橋梁下部工事、上部工事）が実施された。

【一般県道 上松南木曾線（読書ダム～戸場）】

道路詳細設計、橋梁・交差点詳細設計、トンネル詳細設計、用地買収、物件補償、十二兼地区仮橋架設工事が実施された。

【県代行 木曾川右岸道路（町道川向柳野線）】

新高瀬橋の架設に向けた測量設計、地質調査が実施された。

【一般県道南木曾停車場線（大沢田橋）】

歩道橋設置のための測量設計が実施された。

(2) 砂防・河川・災害関係

①町単河川改修事業

【準用河川改修】

県単河畔林整備事業を伊勢小屋沢(天白地区)の支障木伐採を実施した。河川内と民地を一体的に整備し、倒木による栓塞の危険箇所を解消した。

大沢田沢(東町地区)及び蛇抜沢(和合地区)の支障木伐採を実施した。

ささら沢(与川1区)、宮の沢(塚野)、大明神沢、牧原沢(上在郷)の堆積土撤去を実施した。

4年度事業費 3,109千円 (明細別紙参照)

②直轄砂防事業

【砂防事業】……………本体工事

事業概要 和合蛇抜沢沈砂池工、桂川第1砂防堰堤取付道路工

【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要 地蔵沢第1・砂地沢・与川第1・小梨子沢流路工・戦沢第2・熊の沢、神戸第1

③県砂防・河川事業

・長野県より木曾圏域河川整備計画の計画案が10月に示され意見書を提出した。

【緊急浚渫事業】……………木曾川の除石・支障木伐採が実施された。(南木曾中学校横)

木曾川沼田地区の機能向上事業に関する測量設計が実施された。

【河川維持事業】……………与川1区(向田橋上流)の支障木伐採が実施された。

【木曾川治水対策】…河川整備計画が未策定となっている木曾川に早期計画策定を定めること、既存ダムを活用した事前放流や流域治水への取り組みなどについて、木曾郡町村会を通じて長野県建設部、国交省水管理保全局、中部地方整備局、木曾川上流事務所等へ要望を繰り返し実施した。

(3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

【国道 256 号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曾町の 3 市町村で構成し、要望活動を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 4 年 11 月 23～24 日 関東地方整備局、衆参議員、国土交通省、財務省へ要望活動
- ・令和 4 年 12 月 19 日 長野県へ要望活動

【中津川南木曾県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曾町 2 市町で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 4 年 9 月 2 日 長野県へ要望活動
- ・令和 4 年 11 月 4 日 飯田国道事務所、多治見砂防国道事務所へ要望活動
(雨量規制区間の解除に向けた整備を要望した。)
- ・令和 4 年 11 月 18 日 岐阜県へ要望活動
- ・令和 4 年 11 月 21 日 中部地方整備局へ要望活動
- ・令和 4 年 11 月 24 日 国土交通省、財務省、地元国会議員へ要望活動

【木曾南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曾町・大桑村の 3 町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：上松町)

【主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曾町で同盟会を結成し、要望活動等を行った。(事務局：飯田市)

【木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曾町・大桑村の 3 町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：大桑村)

【木曾地域国道 19 号整備促進期成同盟会】

郡内 6 町村と塩尻市で構成し、改良促進を中心に要望活動を行った。(事務局：木曾広域連合)

(4) 町道台帳整備

	5 年 3 月末	4 年 3 月末	増減
道 路 実 延 長 (m)	164, 591	164, 551	40
改 良 済 延 長 (m)	99, 439	98, 823	616
舗 装 済 延 長 (m)	119, 082	118, 796	286
自 動 車 通 行 不 能 道 延 長 (m)	39, 332	39, 875	-543
橋 梁 数 (箇 所)	210	209	1
う ち 永 久 橋 (箇 所)	165	163	2

(5) 諸申請手続き

- ① 河川法申請関係 14 件
- ② 町道自営工事申請 1 件
- ③ 町道使用申請 74 件
- ④ 砂防法申請関係 1 件

- | | |
|---------------|------|
| ⑤ 急傾斜地法申請関係 | 1 件 |
| ⑥ 国道・県道通行制限通知 | 41 件 |

(6) リニア関連工事

町道十二兼線道路拡幅工事

工事期間	令和4年6月20日～令和4年11月30日(竣工検査 令和4年11月30日)
施工概要	設計延長 L=169.6m、幅員 W=6.0m(0.5+5.0+0.5) 防草シート A=1950 m ² 水路延長 L=93m (法尻半割管 L=93m) かご枠工 L=15m (7～8段積み)

令和4年度建設関係主要事業

道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町道補修	町内一円	町道補修57箇所	8,792					8,792	
町道補修(地元施工含む)	町内一円	原材料(舗装補修材等)	2,224					2,224	
調査委託	富貴畑線 妻籠町上連絡線	FWD調査 分筆図作成	748					748	
環境整備委託	富貴畑線	町道整備	99					99	
土木小規模補修	町内一円	ポットホール	11,049					11,049	
道路愛護作業補助金	町内一円 49地区	道路愛護作業	1,080					1,080	
その他		消耗品費	41					41	
合計			24,033					24,033	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内 訳	備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳補正、	1,669					1,669	
看板購入費		通行注意看板	18					18	
合 計			1,687					1,687	

道路舗装事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内 訳	備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
富貴畑線舗装 (電原)	広瀬	工事 L=287.2m、監理	16,052		14,000			2,052	電原立地地域 対策交付金
合 計			16,052		14,000			2,052	

道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
神戸団地下線法面工事	読書	工事 (L=260m)	1,239			6,500		121	
		用地取得 立木補償 物件補償	5,382						
国道256号蘭線交差点改良	蘭	県負担金	388					388	
合計			7,009			6,500		509	

補助道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川線道路改良	与川	地質調査 監理	3,488	1,727		1,700		61	道交
正兼線道路改良	田立	概略設計	495					495	
大原線道路改良	読書	工事 L=94m	8,822	4,411		4,400		11	道交
		工事 L=52m 監理 水道補償	25,623	11,734		13,700		189	社資
合計			38,978	17,872		20,300		806	

県営付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
町道補修	町内一円	補修4箇所	676					676	
国道256号土捨場整備	広瀬	土捨て場整備	1,100					1,100	
右岸道路整備委託	読書	草刈り	49					49	
合計			1,825					1,825	

除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
融雪剤・砂播布業務	町内一円	各地区指定箇所へ配布	814					814	
町道除雪作業委託料		与川3区 下り谷 橋場 本谷	81					81	
凍結防止剤等購入代	町内一円 200箇所	塩化カルシウム 25kg 680袋	1,270					1,270	
融雪剤散布業務	町内		2,064					2,064	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 6箇所	支障木伐採	1,707					1,707	
町道除雪業務重機使用料 (年間管理料)	町内一円 159路線	町内業者10社委託 重機使用料	24,517	892				23,625	社会資本整備 交付金
合計			30,453	892				29,561	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪寒路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
桜洞修繕 ささら沢、宮の沢、大明神沢 牧原沢整備工事	左記のとおり	支障木伐採、堆積土撤去	1,000				1,000		
伊勢小屋沢河畔林整備工事	伊勢小屋沢	河畔木伐採、監理	2,109		1,710		399		
合計			3,109		1,710		1,399		

橋梁維持経費

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
橋梁点検業務	町内一円	点検5橋 監理	1,507	627		700	180		
橋梁補修事業	田立駅跨線橋	地質調査解析	4,001	9,104	5,400		57	道路メンテ 事業補助	
		耐震診断補修設計	10,560						
	井戸沢橋	補修設計	341		1,200	384			
合計	宮の沢橋	工事	1,243						
合計			17,652	9,731	7,300		621		

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内訳 その他 一般財源	
道路災害復旧事業（9月9日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	三留野2箇所 妻籠3箇所 蘭2箇所 田立1箇所	流出土砂撤去、浮石撤去 路肩、法面修繕 倒木処理 法面整形	2,963				2,963	
合計			2,963				2,963	

道路維持補修事業（令和3年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内訳 その他 一般財源	
坂の下線他交通安全対策 （グリーンベルト舗装）	町内4箇所	工事 監理	5,472	2,508		1,400	1,564	社資防安
合計			5,472	2,508		1,400	1,564	

道路舗装事業（令和3年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
額付環状線舗装事業	蘭	工事L=287.2m 監理	12,143			12,100			43	
		用地測量	242			200			42	辺地債
		用地取得	99						99	
川向下線舗装事業	川向	工事L=130.8m 監理	5,589			5,500			89	過疎債
合計			18,073			17,800			273	

道路新設改良事業（令和3年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
坂の下線交差点改良事業	坂の下	概略検討	2,486						2,486	
十二兼線道路改良事業	十二兼	照査設計 引継ぎ検査	600				600			リニア建設 対策負担金
合計			3,086				600		2,486	

補助道路新設改良（令和3年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
妻籠街中線美装化事業	妻籠	詳細設計 監理	7,296	3,520		3,700		76	街かん
		舗装材確認	1,188					1,188	
大原線道路改良事業	新町・上の原	工事 L=94m 監理	60,570	20,571		39,700		299	道交
坂の下線道路改良事業	坂の下	工事 L=52m	14,168	7,588		5,700		880	社資
合計			83,222	31,679		49,100		2,443	

国土強靱化事業（令和3年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
長者畑線防災事業	広瀬	工事 監理	31,262	17,100		12,900		1,262	社資防安
		物件補償	66					66	
合計			31,328	17,100		12,900		1,328	

災害復旧事業（過年度災害 単独）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
富貴畑線災害復旧事業	広瀬	工事 監理	1,573					1,573	公共土木施設 災害復旧
		用地取得	242				242		
		立木補償	198				198		
中山道災害復旧事業	妻籠 下り谷	工事 監理	3,608		3,600			8	公共土木施設 災害復旧
		用地測量	100				100		
		用地取得	53				53		
		物件補償	958		900		58		
合計			6,732		4,500		2,232		

災害復旧事業（過年度災害 国庫）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
富貴畑線災害復旧事業	広瀬	工事 L=18.4m	13,940	8,762	4,300			878	公共土木施設 災害復旧
中山道災害復旧事業	妻籠 下り谷	工事 L=27.7m	17,055	10,718	5,300		1,037		
合計			30,995	19,480	9,600		1,915		

令和4年度負担金関係

同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進 期成同盟会負担金	200,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防 推進協議会負担金	149,200	推進協議会（事務局 上松町）
県河川協会負担金	27,000	河川協会（事務局 県河川課）
全国治水砂防協会負担金	20,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会 （事務局 県砂防課）
県道路整備期成 同盟会負担金	160,500	同盟会（事務局 県道路管理課）
中津川南木曾県際道路 改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 南木曾町）
飯田南木曾線改良促進 期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良 促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策 連絡協議会負担金	500	
木曾南部木曾川右岸道路 整備促進期成同盟会	50,000	同盟会（事務局 大桑村）
木曾地域交通網対策協議会	0	木曾広域連合
長野県南部国道連絡協議会	0	南信州広域連合
中部国道連絡協議会	0	静岡県
合計	667,200	

2. 住宅関係

(1) 町営住宅管理状況

* 住宅及び入居者の状況

R5.3.31 現在

	管理戸数	年度当初入居戸数	年度中入居戸数	年度中退去戸数	年度末入居戸数	年度末空家戸数	除却予定空家戸数
公営住宅	67	58	1	6	53	6	8
特定公共賃貸住宅	16	13	2	0	15	1	0
地域優良賃貸住宅	6	6	0	1	5	1	0
町営単独住宅	21	17	3	1	19	0	2
ユアイ住宅	46	43	5	2	46	0	0
合計	156	137	11	10	138	8	10

◎教育委員会管理

教員住宅	30	24	4	6	22	8	0
------	----	----	---	---	----	---	---

* 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	不納欠損額	未徴収額	家賃徴収率
使用料	(公営住宅・特賃住宅・地優賃住宅)	20,060,700円	20,051,800円	0円	8,900円	99.96%
	(全住宅駐車場)	429,500円	429,500円	0円	0円	100.00%
財産収入	(教員住宅)	4,944,100円	4,944,100円	0円	0円	100.00%
	(ユアイ住宅)	20,398,800円	20,347,600円	0円	51,200円	99.75%
	(町営単独住宅)	4,407,000円	4,189,400円	0円	217,600円	95.06%
過年度収入		2,999,000円	330,000円	1,265,100円	1,403,900円	11.00%
計		53,239,100円	50,292,400円	1,265,100円	1,681,600円	94.47%

※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

※住宅維持補修

令和4年度末において、環境住宅係で管理している住宅は156戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め69件6,994千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅については17件871千円の維持補修を実施した。

(2) 住宅資金貸付業務

平成23年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4件分にあたる2,000千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

(3) 住宅改善の状況

・町営住宅改善事業

特定公共賃貸住宅鹿の島団地改修工事

特定公共賃貸住宅鹿の島団地 2 棟 4 戸

(別紙詳細)

ユーアイ住宅長坂団地改修工事

ユーアイ住宅長坂団地 2 棟 4 戸

(別紙詳細)

(4) 住宅除却の状況

・町営住宅除却工事

町営住宅天白 1 1 9 号除却工事

町営住宅天白団地 1 棟 1 戸

(別紙詳細)

(5) 諸申請手続き

・建築工事関係

建築工事届 (床面積 10 m²以上)

4 件

建築確認申請書 (延べ床面積が 500 m²など)

0 件

建築物除却届 (床面積 10 m²以上)

13 件

(6) 木造住宅耐震改修補助事業

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

・耐震診断 (国・県・町で診断料を負担)

1 件

・耐震改修・補強工事 (工事費の 1/2 以内で上限 100 万円を補助)

0 件

(7) 住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30 万円以上の工事に対して、補助対象工事費の 10%、限度額 20 万円。

補助金の 30%相当額を南木曾町商品券で交付

・令和 4 年度分

申請件数

8 件

総事業費

43,527 千円

補助対象工事費

15,263 千円

補助金額

1,676 千円

内商品券額

608 千円

別紙（事業実績）

（令和4年度実施事業）

（単位：千円）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町営住宅改善事業 （特定公共賃貸住宅）	吾妻 特賃住宅 鹿の島団地	2棟4戸	外壁改修工事 設計監理業務	6,636					6,636	
” （UI住宅）	吾妻 UI住宅 長坂団地	2棟4戸	外壁塗装工事 設計監理業務	4,334					4,334	
町営住宅除却工事	読書 町営住宅 天白団地	1棟1戸	除却工事	1,276					1,276	

3. 環境関係

(1) ごみ処理関係

①可燃ごみ

令和4年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は426.8tで、前年度より0.1tの減少となった。

木曾クリーンセンターにおける南木曾町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は557.5tで、昨年度より5.5tの減少となった。木曾クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定め、令和4年度の実績で、木曾郡全体で249.5t、南木曾町では86.5tの減量が必要となり、木曾全体で連携してごみの減量・再資源化（3R・2R）への取り組みが必須となっている。引き続きごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
町内収集分	458.1	488.0	480.7	426.9	426.8
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	566.8	613.9	584.6	563.0	557.5
ごみ排出量対前年度増減	11.7	47.1	△29.3	△21.6	△5.5
令和4年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
令和4年度排出目標値達成率	83%	77%	81%	84%	84%

※木曾クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

②生ごみ

令和4年度が生ごみ排出量は103.7tで、前年度より1.9tの増加となった。

木曾クリーンセンターと連携して、分別意識の向上に努めていきたい。

【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
生ごみ	108.2	104.1	100.0	101.8	103.7

③不燃ごみ

令和4年度の不燃ごみ排出量は38.8tで、前年度より2.2tの減少となった。

集団回収や再資源化分別収集の排出量は増加しており金物類の排出量が減少したものと思われる。

【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
金物類	19.3	20.2	22.3	22.0	16.9
ガラス類	20.8	22.9	28.0	19.0	21.9
合 計	40.1	43.1	50.3	41.0	38.8

④資源ごみ

資源びん・ペットボトル・発泡スチロール、蛍光管、プラスチック製容器包装、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、新聞、アルミ缶、牛乳パック、ビールびん等をひだまり工房、小・中学校PTA等の集団回収で実施している。

資源集団回収の実績に応じて3団体に「南木曾町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
ダンボール	84.8	83.6	82.3	71.2	67.7
雑誌・雑がみ	30.7	28.1	26.4	25.9	29.0
資源びん	27.7	27.0	25.2	23.5	22.9
ペットボトル	11.5	11.5	10.4	10.4	11.1
発泡スチロール	2.8	2.7	2.5	2.3	2.2
プラスチック製容器包装	28.3	30.5	26.3	29.1	33.5
古着・古布	7.2	7.5	10.1	9.2	9.0
合 計	193.0	188.2	183.2	171.6	175.4

○資源集団回収

実施団体：南木曾小PTA・南木曾中PTA・ひだまり工房

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg、ビン類：本、交付額：円)

種 類	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	
紙類	新聞	60,100	180,300	58,900	176,700	51,260	153,780
	雑誌類	66,130	264,520	48,460	193,840	56,160	224,640
	ダンボール	14,140	42,420	16,080	48,240	13,780	41,340
牛乳パック	1,440	4,320	1,280	3,840	1,180	3,540	
アルミ缶	5,030	15,090	4,380	13,140	4,395	13,185	
ビン類(本)	336	67	456	90	486	96	
合 計		506,717		435,850		436,581	

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ等)の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

平成26年度から布団の受入れ(有料(130円/10kg H27.10.1料金改定))を毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

・令和4年度布団受入実績 198件 8,370kg(前年度比+40件 +1,840kg)

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。

①南木曾町衛生自治会

【令和4年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	0回		5月11日 書面決議 承認55名
役員会	3回	役場	4月8日、9月2日、3月13日
町内一斉清掃	2回	町内	4月24日(可燃ごみ 190kg 不燃ごみ 215kg) 9月25日(可燃ごみ 80kg 不燃ごみ 100kg)
委員研修	0回		コロナウイルス感染症予防の為、中止
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物(資源びん・ペットボトル・発泡スチロール等)の分別収集の推進協力等

②ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、4名へ委託し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】 (単位:個)

回収品目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
缶類	4,067	3,813	4,093
びん類	259	151	179
ペットボトル	4,892	5,341	5,454
可燃ごみ	177	123	120

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋(50L)での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
出動日数	223日	222日	217日
延人数	446人	448人	434人
延時間	1,396H	1,344H	1,317H

③不法投棄防止関係

町が加入する木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会による、「道の駅大桑」でのポイ捨て防止啓発活動に毎年参加しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となった。

また、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会との合同で、廃棄物不法投棄防止パトロールを実施しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となった。

(3) し尿・火葬関係

①し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
汲取り量	694K L	639K L	608K L
汲取り手数料	8,208千円	7,610千円	7,324千円
浄化槽汚泥量	3,373K L	3,825K L	3,669K L
浄化槽清掃手数料	38,024千円	41,762千円	41,537千円

②火葬関係(緑聖苑)

【火葬場使用件数等】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
火葬場使用件数	32件	41件	43件
火葬場使用料	512千円	661千円	688千円
霊柩車使用件数	32件	41件	43件
霊柩車使用料	900千円	1,177千円	1,230千円

(4) 墓地の許可関係(届け出数)

①墓地	経営許可: 2件	廃止許可: 12件	改葬許可: 12件
②納骨堂	経営許可: 0件	廃止許可: 0件	

(5) 霊園分譲関係 (神戸霊園)

未分譲区画	4区画 (4年度分譲実績0件)
返還	1区画
使用権譲渡	1区画
年度末未分譲区画	5区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	276頭	年度内注射済頭数 (前住地接種含む) ※1	243頭
死亡等抹消頭数	36頭	未接種頭数※2	31頭
新規登録数	6頭	新規登録手数料 (@3,000×6頭)	18,000円
転入登録数	2頭	注射済証交付手数料 (@550×242頭)	133,100円
年度末 畜犬登録数	248頭	鑑札再交付手数料 (@1,600×2頭)	3,200円
		計	154,300円

※1 注射済頭数内訳 集合春：187頭、集合秋：9頭、訪問：7頭、来院：39頭
転入：1頭 (年度内前住地接種済) 計243頭

※2 未接種頭数内訳 老病等：20頭、不詳：11頭 計31頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模 (事業区域面積500㎡) 以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

件数	法人	0件
	個人	0件

(8) 地球温暖化対策関係事業

国が進める地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (賢い選択)」に賛同し、省エネや行動など温暖化対策に資する選択を一人ひとりができるところから取り組んでもらうことを目的に、パンフレットの窓口掲示による普及啓発を実施した。

(9) リニア関係

リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査の実施

① 長野県大気環境測定車による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
R 4. 5. 23～R 4. 6. 23 (30日間)	妻籠地区	妻籠クリーンセンター
R 4. 6. 23～R 4. 7. 25 (31日間)	蘭地区	バス停「木曾路館前」付近

② 水質、水量等の独自調査の実施 (町独自調査として水文調査を実施した)

事業名	調査期間	実施箇所	実施回数	事業費	委託先
南木曾町 水文調査業務	R 4. 4. 1～ R 5. 3. 23	河川 5カ所 井戸 1カ所	12回	871,200円	一般財団法人 中部公衆医学研究所

(10) コロナウイルス関係

コロナ禍における観光への影響対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、オリジナルデザイン付きエコバッグ2種類を町民に配布した。

4. 上下水道関係事業

(1) 簡易給水施設関係

①簡易給水施設整備助成（事業費の90%） （単位：円）

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	前の畑水道	取水施設修理（災害復旧のため100%補助）	495,000
2	向田水道	水源土砂撤去	52,000
3	柿平水道	水管橋漏水修繕	81,000
4	柿平水道	次亜注入制御タイマー修繕	134,000
5	十二兼水道	本管水道修繕	122,000
	合	計	884,000

②簡易給水施設水質検査

町内17ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（129,030円）については町が負担を行っている。

検査機関（財）中部公衆医学研究所

*小規模水道 人口・戸数一覧表

（令和5年3月31日現在）

（小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称）

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	向田水道	簡易給水施設	与川一区	3	7	ささら沢	表流水
2	柿平水道	飲料水供給施設	与川一区	15	44	干沢（ひざわ）	表流水
3	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	18	殿沢	表流水
4	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	8	18	カツラ洞	表流水
5	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・与川区	21	50	沼洞	表流水
6	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	17	久保洞	湧水
7	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	8	大沢の支流	湧水
8	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	10	27	ナシノキ沢	表流水
9	十二兼水道（上）	飲料水供給施設	十二兼	23	60	田ノ沢	湧水
10	十二兼水道（下）	飲料水供給施設	十二兼			熊ノ沢	表流水
11	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	24	新山沢	湧水
12	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	5	13	日陰洞	表流水
13	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	10	22	倉洞	湧水
14	上の原下6戸水道	簡易給水施設	上の原	5	22	白島沢	湧水
15	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	5	14	井戸沢	表流水
16	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	12	大明神沢	表流水
17	三軒家水道	簡易給水施設	上在郷	3	5	水上沢	表流水
18	夏焼水道	簡易給水施設	幸助	4	7	夏焼（大土地）沢の支流	表流水
	合計	18		138	368		

※個人水道（簡易給水区域内を除く） 21戸・42名

※令和5年4月以降向田水道と柿平水道が統合予定

③小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した（17組合中17組合より回答）。

④令和4年度 柿平・向田水道施設統合事業（次年度へ繰越）

測量設計 561,000円（請負者：共和設計株式会社）

工事費 4,070,000円（請負者：(株)名工土木）

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、令和4年度においては5基設置した。

内訳： 与川三区 1基、上の原地区 2基、上在郷地区 2基

①合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳

(単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備 考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
3, 232	1, 077	1, 077	1, 078	設置補助金

②人槽別設置補助金額

(単位：円)

人 槽 の 区 分	補 助 金 額
5人槽	332, 000
6～7人槽	414, 000
8～10人槽	548, 000
11～20人槽	939, 000
21人槽以上	1, 472, 000

